



## アカデミック英語 No.5


## 英語で定義する・例示する

## —— namely・such as・that is を使った説明技術

 **今日のゴール**： 学術論述・面接で「概念を正確に定義し、具体例で補強する」技術を習得する。  
namely / such as / that is (i.e.) / for instance / to illustrate の正確な使い分けと、「定義→例示→意義」の3ステップ説明フローを身につける。

 定義・例示の主要表現と使い分け

表現	機能	例文
namely	「すなわち」完全列挙・特定	The four principles of medical ethics apply here, <b>namely</b> autonomy, beneficence, non-maleficence, and justice.
such as / including	「～など」例示 (部分列挙)	Lifestyle factors, <b>such as</b> diet and exercise, significantly affect cardiovascular risk.
that is / i.e.	「つまり」言い換え・明確化	The patient exhibited orthopnea, <b>that is</b> , difficulty breathing when lying flat.
for example / for instance	「例えば」典型例の提示	<b>For example</b> , statins reduce LDL cholesterol by inhibiting HMG-CoA reductase.
to illustrate	「具体的に示すと」説明強化	<b>To illustrate</b> , consider a patient who refuses surgery despite a life-threatening condition.
in other words / put differently	「言い換えれば」平易化	The procedure carries a 0.1% mortality rate, <b>in other words</b> , 1 in 1,000 patients may die.

 **namely vs such as の差**： **namely**：直前の名詞/概念のすべてを列挙する (= 言い換え・完全リスト)

**such as**：部分的な例示 (リストが全てではない)

→ "three methods, namely A, B, and C" ← namely で3つ全部

→ "methods such as A and B" ← 他にも方法はある

## 採点者の視点

## 採点者はここを見ている —— 英語・定義・例示表現で合格答案はこういう「構造」をしている

## ① なぜ同じ答えでも評価が違うのか


清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

**「正しい内容を書いても、論理の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」**

英語・定義・例示表現では、*namely/such as*の使い分け根拠の理解が答案の質を大きく左右します。

## ② 英語・定義・例示表現で採点者が見ているポイント

「*namely*は言い換え・*such as*は例示と使い分けた理由」を示した答案が採点者に「表現を使いこなしている」と映る

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

## ③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「論理を俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

## 続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所